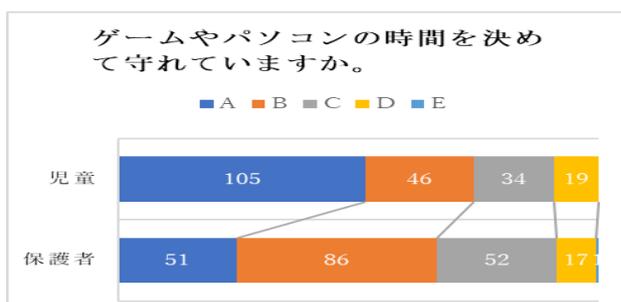
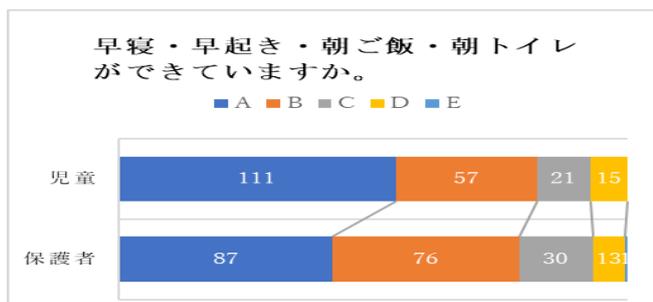
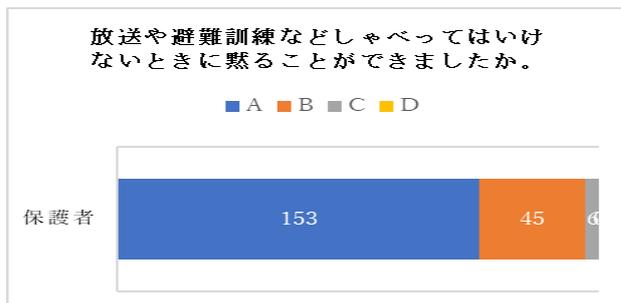
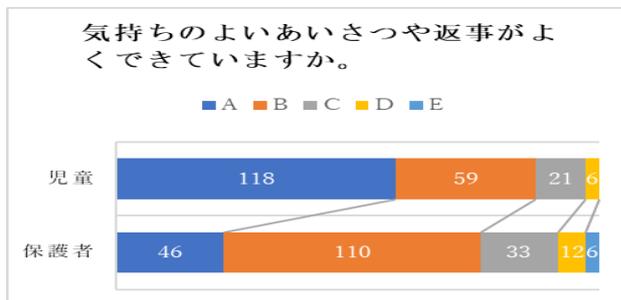
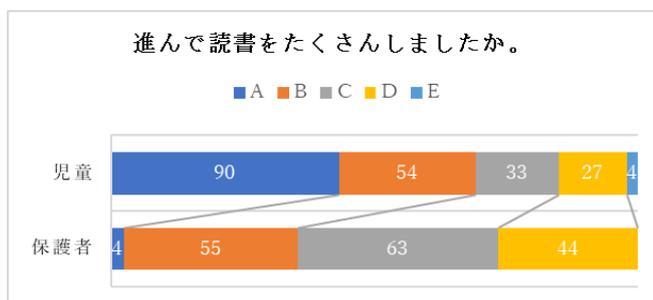
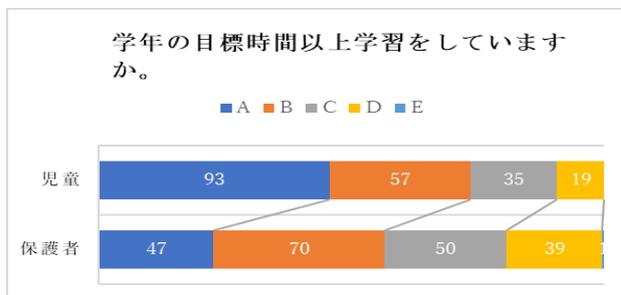
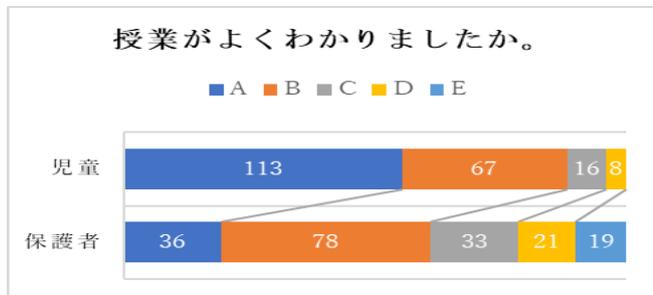


令和6年度学校評価（前期）

令和6年9月
四国中央市立中之庄小学校

〈A：よくできた B：どちらかといえばできた C：どちらかといえばできなかった D：できなかった E：わからない〉



～ 結果の考察 ～

(学力について)

- 「授業がよくわかりましたか」の設問については、昨年度に引き続き9割近くの児童が肯定的な回答をしております。ICT機器の導入により、学習環境が整ってきたこと、朝ドリルの継続した取組でプラスの変化が見られた成果であると考えられます。一人一台端末の活用だけでなく、従来の読む・書く・話すことを大切にアナログの部分も大切にしております。指導内容に応じてデジタルとアナログを使い分けるなど、今後も基礎基本の定着を図り、授業改善に努めていきます。また、朝ドリルについては各学年の実態に応じて、eスタを活用するなど、内容を工夫していきます。
- 家庭学習、読書については、十分とは言えないと考えるお子さんや保護者の方が半数以上でした。学校では、朝読書の時間や、保護者や地域の皆様による読み聞かせなど、読書の楽しさを伝える活動を行っているところです。また、学級では担任によるおすすめの本の紹介など、本に興味を持ってもらえるような工夫をしています。学年はじめに配付しております「家庭学習の手引き」を参考に、ご家庭でも取組にご協力いただけるとありがたいです。

(学校生活について)

- 「気持ちのよいあいさつや返事ができている」と回答したお子さんは87%以上、保護者は75%でした。挨拶についての意識は、6年生の自主的な活動や運営委員によるあいさつ週間の取組により、少しずつ高まってきています。また、地域の方にも協力していただいて、挨拶をがんばっているお子さんに挨拶カードを配っています。今後も継続して挨拶運動に取り組んでいきます。家庭でも、地域でも、学校でも気持ちのよい挨拶が響く中之庄小学校を目指し取り組んでまいりますので、今後ご協力をお願いいたします。

(防災について)

- 保護者の半数の方が「お子さんと災害に備えた話し合いをしている」と回答してくださっていました。また、97%の児童が「放送や避難訓練など、しゃべってはいけないときに黙ることができましたか」の設問に、肯定的な回答をしていました。今年に入り、全国各地で起こった地震の際などにご家庭で話して下さっていることや、学校で行っている避難訓練や防災教室の成果として、児童の防災意識が高くなっていると考えられます。さらに、今年度は保護者の皆様のご協力で防災頭巾を備えることができました。ご協力ありがとうございました。また、この夏休み中には「南海トラフ地震臨時情報」が発令され、改めて防災の大切さを感じられたのではないかと思います。今後も防災意識の向上を図っていきます。本校では、5年生を中心に防災についての学習を行っております。学習したことを、地域や保護者の皆様にも知っていただけるよう発信していきます。